

新型コロナウイルス感染症の診療所経営への影響 —2020年7～8月分—

日本医師会総合政策研究機構 前田由美子

ポイント

- ◆ 新型コロナウイルス感染症の拡大が医療機関経営に与える影響を把握するため、2019年および2020年の7・8月のレセプト情報、医業収入、医業利益等について、診療所を対象にアンケート調査を行った。また、2020年3～6月の全国実績や、同年4～6月を対象に行ったアンケート調査を踏まえて、傾向を分析した。
- ◆ 入院外総件数の対前年同月比は2020年5月のマイナスがもっとも大きく、6月にはややマイナス幅が縮小したが、7月、8月と改善傾向が見られない。特に小児科、耳鼻咽喉科は、大幅な減少となっており、要因のひとつである受診控えがつついていることがうかがえる。
- ◆ 1施設当たり医業収入の対前年同月比は2020年5月から6月にかけてややマイナス幅が縮小したが、7月、8月はほとんど回復していない。2020年4～8月平均での無床診療所の1施設当たり医業収入対前年同月増減額は、月平均▲1,484千円である。
- ◆ 2020年7月、8月の医療法人の医業利益率は水面上スレスレか赤字の状態である。2020年4～8月平均での無床診療所の1施設当たり医業利益対前年同月増減額は、月平均▲1,210千円である。
- ◆ 感染拡大防止等を行った診療所向けに新型コロナ緊急包括支援交付金（上限：有床診療所2,000千円、無床診療所1,000千円）があるが、支援として十分ではない。
- ◆ 診療報酬では院内トリアージ実施料（300点／回）の対象が広がり、電話等再診で医学管理料を算定できるようになったが、対前年同月の減収はつついている。
- ◆ 全体的な追加支援と、さらに小児科および耳鼻咽喉科に対しては、集中的な支援が求められる。

目 次

1. 調査について	1
1.1. これまでの調査	1
1.2. 今回の調査	2
2. 集計結果	4
2.1. 回答数	4
2.2. 総件数・総点数	5
2.2.1. 総数	5
2.2.2. 有床・無床別	6
2.2.3. 入院・入院外および診療科別	7
2.3. 1施設当たり医業収入	10
2.3.1. 総数	10
2.3.2. 有床・無床別	11
2.4. 医業利益	13
2.4.1. 医業利益率	13
2.4.2. 1施設当たり医業利益	14
3. まとめ	16
4. 集計表	17
4.1. 診療科別総件数・総点数	17
4.2. 1施設当たり医業収入	19
4.3. 1施設当たり医業利益等	20
参考（これまでの調査の公表）	21

1. 調査について

1.1. これまでの調査

日本医師会は、新型コロナウイルス感染症の拡大が医療機関経営に与える影響を調査するため、2020年3月以降継続してアンケート調査を実施してきた（表 1.1.1）。本稿では、今回第5回目の調査の結果を中心に示す。

表 1.1.1 これまでの調査

	調査依頼日	調査対象期間※	主な調査項目
第1回	2020.3.27	3月	初診料、再診料または外来診療料、入院外総件数・総日数・総点数（第1～3回調査は病院・診療所が対象。第4回以降診療所のみ）
第2回	2020.5.7	3～4月	
第3回	2020.6.16	3～5月	
第4回	2020.7.29	4～6月	損益状況（医業収入、介護収入、医業・介護費用、医業利益）
第5回	2020.9.23	7～8月	レセプト件数・診療実日数・点数、損益状況（医業収入、介護収入、医業・介護費用、医業利益）

※ いずれも2019・2020年分について調査

一連の調査では、総点数（医療費（公的保険収入））や医業収入（公的保険収入以外の収入を含む）を調査した。医療費は後追いで、厚生労働省から実績値が公表される。本調査は必ずしも客体数が多いわけではなく、また医業収入を調査しており、医療費（公的保険収入）とは異なるが、日本医師会調査は厚生労働省の実績値と傾向としては大きく乖離していない（表 1.1.2）。

表 1.1.2 日本医師会調査と全国実績

1施設当たり医業収入または医療費 対前年同月比		(%)					
		3月	4月	5月	6月	7月	8月
日本医師会 調査 ※1	1施設当たり医業収入 ※3	未調査	▲ 15.4	▲ 16.5	▲ 8.0	▲ 6.8	▲ 4.9
	1施設当たり総点数 ※4	(入院外のみ調査)			未調査	▲ 6.6	▲ 5.5
厚生労働省 ※2	1施設当たり医療費 ※5	▲ 8.0	▲ 15.8	▲ 15.4	▲ 4.1	▲ 6.7	未公表

※1 医業収入の4～6月は第4回調査。7～8月は第5回調査。

※2 厚生労働省「最近の医療費の動向-MEDIAS-」休日数等の影響補正前

※3 医療保険収入以外の収入を含む。介護収入を含まない。

※4 診療報酬総点数 ※5 「保険診療分の医療費で診療報酬総点数に同じ

1.2. 今回の調査

2020年9月23日に都道府県医師会に調査を依頼した。都道府県医師会が任意の診療所（会員医療機関）に連絡し、日本医師会のホームページから調査票をダウンロードし入力後メールで送付するか、手書き回答をFAXまたは郵送する方法で、2020年10月30日まで回答を受け付けた。

調査項目は以下のとおりである。

<必須項目>

- 2019年および2020年7～8月のレセプト件数・診療実日数・点数、損益状況（医業収入、介護収入、医業・介護費用、医業利益）

<任意項目>

- 電話および情報通信機器を用いた診療の実施状況および評価
- 長期処方を原因とする問題事例

回答数は 656 施設であった。任意で回答する項目もあり、また 7 月と 8 月とで有効回答数が異なるので、以下、本文中に都度明記する。

なお、電話および情報通信機器を用いた診療の実施状況および評価については、別途レポートにとりまとめる。

2. 集計結果

2.1. 回答数

回答数は 656 施設であった（表 2.1.1）。有効回答数は質問項目ごとに異なるので、以下、本文中に都度明記する。

診療科別では新型コロナウイルス感染症の影響が大きい小児科からの回答がやや多かった。

表 2.1.1 回答施設の内訳

開設者別有床・無床別

	有床	無床	無回答	計
医療法人	103	357	0	460
個人	11	178	0	189
その他	0	5	0	5
無回答	0	1	1	2
計	114	541	1	656

診療科別有床・無床別

	有床	無床	無回答	計	構成比(%)	全国※
内科	43	274	1	318	48.5	55.1
外科	12	26	0	38	5.8	2.8
整形外科	15	48	0	63	9.6	7.2
眼科	15	22	0	37	5.6	7.1
耳鼻咽喉科	1	51	0	52	7.9	4.9
小児科	0	66	0	66	10.1	5.3
皮膚科	0	13	0	13	2.0	4.7
泌尿器科	5	6	0	11	1.7	1.7
精神科	1	11	0	12	1.8	3.4
産科・産婦人科	16	7	0	23	3.5	2.8
婦人科	1	4	0	5	0.8	0.7
脳神経外科	1	9	0	10	1.5	1.0
その他	4	4	0	8	1.2	3.3
計	114	541	1	656	100.0	100.0

※)全国は、厚生労働省「平成29年医療施設(静態・動態)調査」による

2.2. 総件数・総点数

2.2.1. 総数

対前年同月比は、総件数では2020年7月▲9.8%、8月▲8.0%、総点数では、7月▲6.6%、8月▲5.5%であった(図2.2.1)。参考として2020年3～7月の実績値を示した(表2.2.1)。これを踏まえると、総件数は6月、7月は大きな変化なし、総点数は2020年7月は6月よりも悪化し、8月もそれほど挽回できていない。

図 2.2.1 診療所(有床+無床)総件数・総点数 対前年同月比

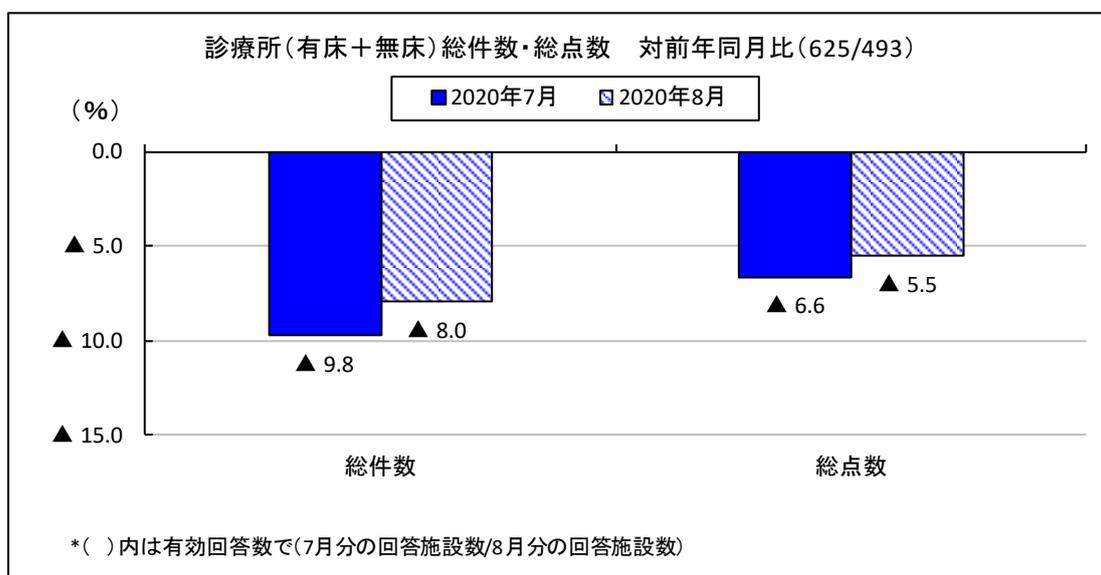


表 2.2.1 診療所(有床+無床)総件数・総点数対前年同月比全国実績

診療所(有床+無床)	(%)				
	3月	4月	5月	6月	7月
総件数	▲ 10.6	▲ 18.3	▲ 19.1	▲ 9.3	▲ 9.3
総点数	▲ 7.8	▲ 15.9	▲ 15.4	▲ 4.1	▲ 6.8

*厚生労働省「概算医療費データベース」から作成

2.2.2. 有床・無床別

総件数の対前年同月比は有床診療所では7月、8月は同水準、無床診療所では7月の落ち込みが大きく、8月もそれほど挽回できていない。総件数の主要因は受診控えであると推察されるが、受診控えが改善していないことがうかがえる(図 2.2.2)。総点数も7月から8月にかけて、若干改善した程度である(図 2.2.3)。

図 2.2.2 診療所 総件数 対前年同月比

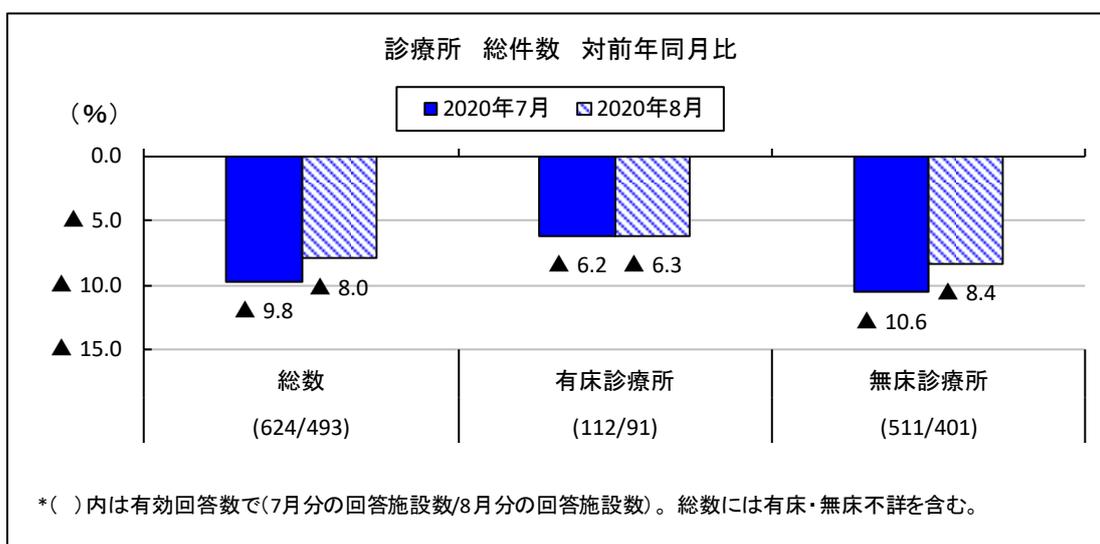
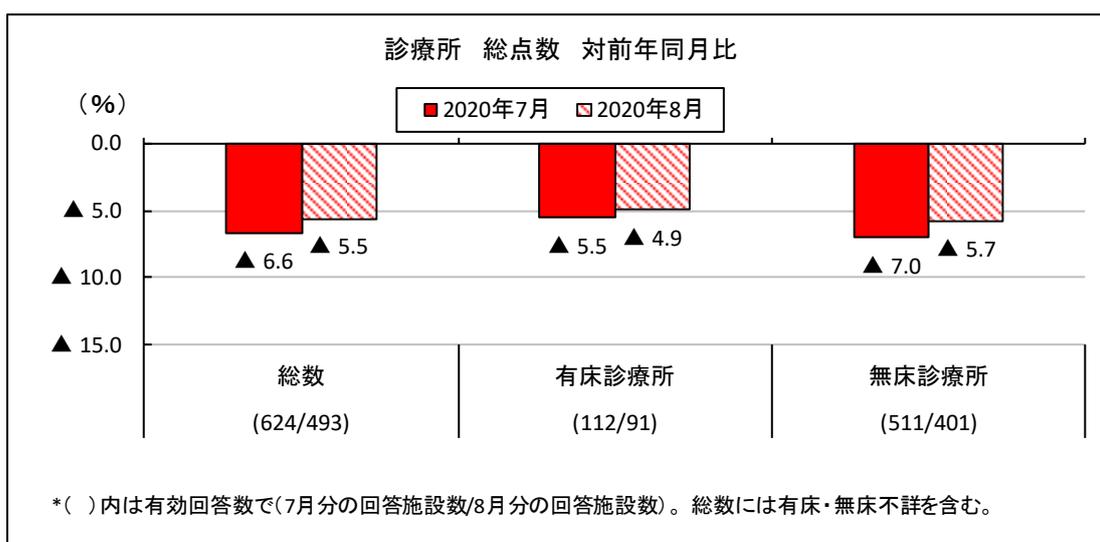


図 2.2.3 診療所 総点数 対前年同月比



2.2.3. 入院・入院外および診療科別

入院

入院総件数の対前年同月比は7月から8月にかけてさらに低下している(図 2.2.4)。入院総点数の対前年同月比は7月、8月とほぼ横這いである。入院単価アップがあったところが複数あり、全体の客体数が少ないためその影響を受けていることも一因である。内科で見ると、総点数は7月▲6.2%、8月▲7.0%である(図 2.2.5)。

図 2.2.4 診療所(有床)入院総件数 対前年同月比

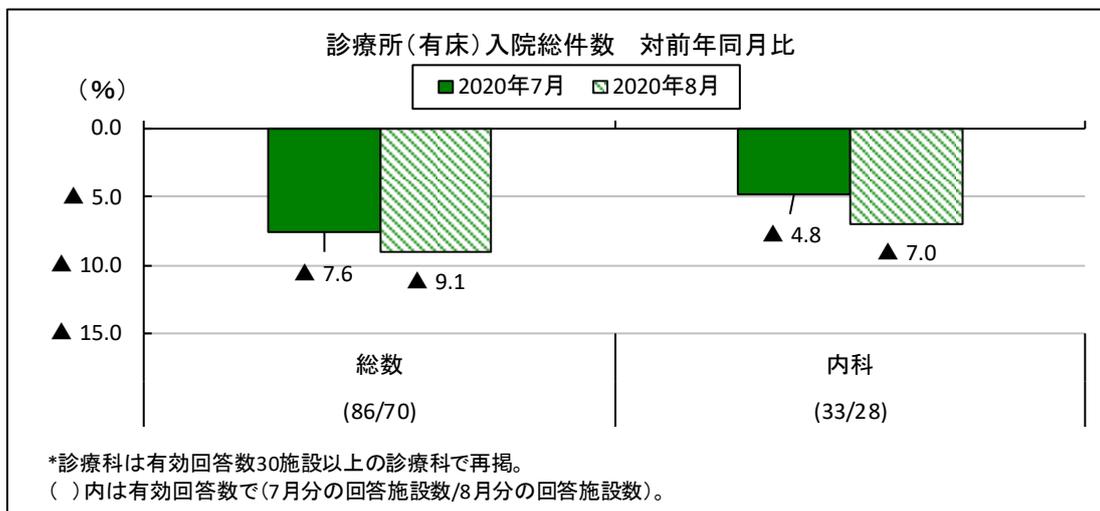
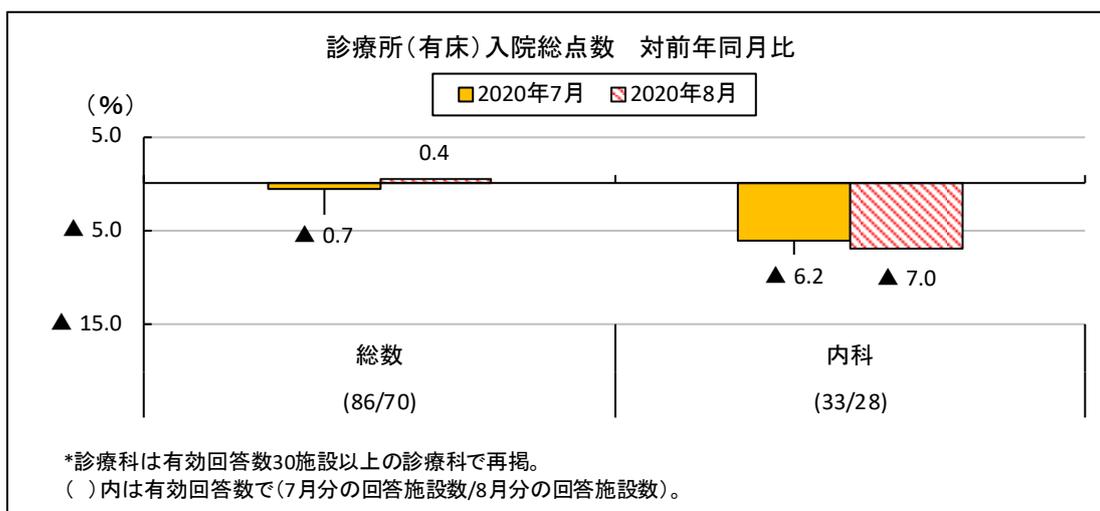


図 2.2.5 診療所(有床)入院総点数 対前年同月比



入院外

総件数は対前年同月比で、2020年7月、8月と小児科で3割以上、耳鼻咽喉科で2割前後減少している（図 2.2.6）。2020年3月以降の実績も踏まえてみると、小児科では4月以降連続で入院外総件数が3割前後かそれ以上減少している（表 2.2.2）。

図 2.2.6 診療所（有床＋無床）入院外総件数 対前年同月比

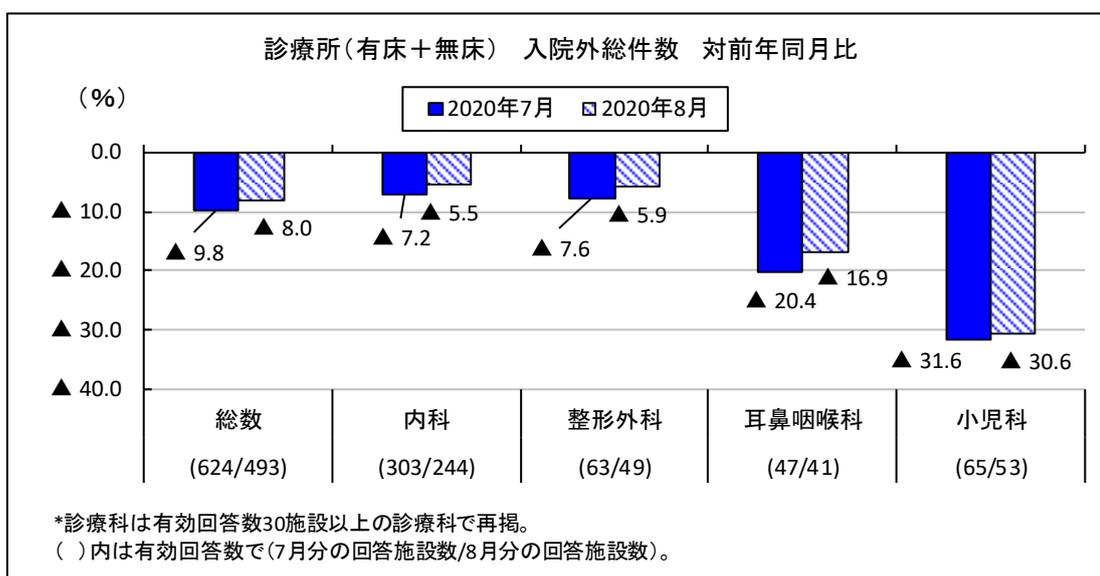


表 2.2.2 診療所（有床＋無床）入院外総件数対前年同月比全国実績

	2020年				
	3月	4月	5月	6月	7月
内科	▲ 8.0	▲ 13.5	▲ 17.2	▲ 8.9	▲ 8.7
小児科	▲ 22.4	▲ 37.4	▲ 45.1	▲ 32.7	▲ 28.4
外科	▲ 12.2	▲ 17.3	▲ 18.1	▲ 10.5	▲ 12.7
整形外科	▲ 7.5	▲ 17.1	▲ 16.6	▲ 6.6	▲ 6.7
皮膚科	▲ 1.7	▲ 13.2	▲ 5.9	4.9	▲ 5.4
産婦人科	▲ 4.2	▲ 13.2	▲ 12.4	▲ 3.4	▲ 4.4
眼科	▲ 12.9	▲ 26.4	▲ 24.2	▲ 7.4	▲ 6.0
耳鼻咽喉科	▲ 29.2	▲ 39.0	▲ 38.7	▲ 31.1	▲ 22.7

*厚生労働省「概算医療費データベース」から作成

総点数は、2020年7月、8月は前年同月に比べて、小児科で3割近く減、耳鼻咽喉科で2割前後の減であり、他の診療科でも依然として前年同月を下回っている（図 2.2.7）。2020年3月以降の実績も踏まえてみると、小児科では4月以降連続で入院外総点数が3割前後かそれ以上減少している（表 2.2.3）。

図 2.2.7 診療所（有床＋無床）入院外総点数 対前年同月比

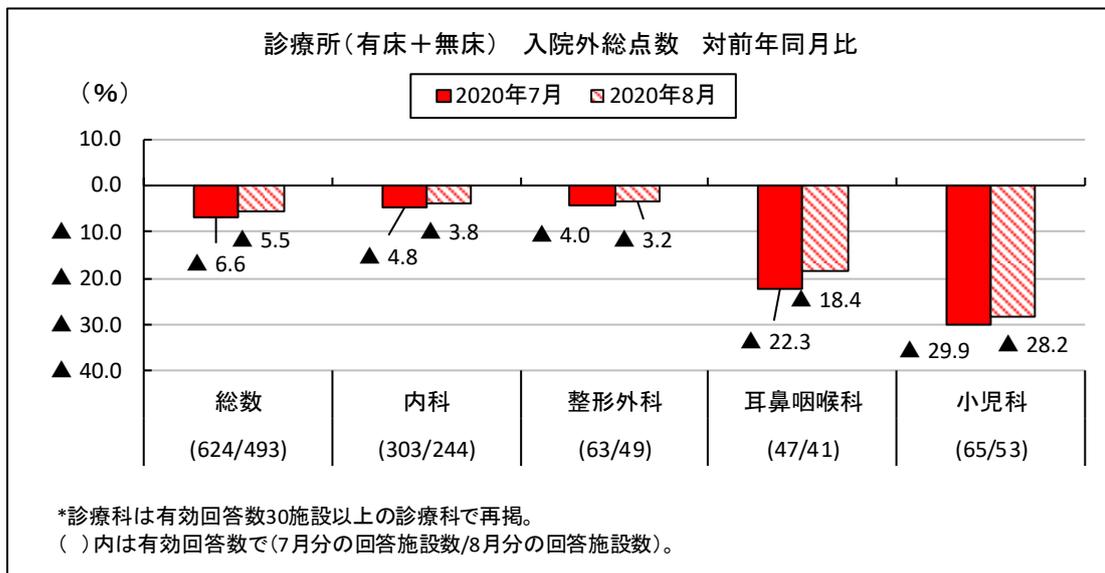


表 2.2.3 診療所（有床＋無床）入院外総点数対前年同月比全国実績

	2020年				
	3月	4月	5月	6月	7月
内科	▲ 5.5	▲ 11.6	▲ 12.1	▲ 2.4	▲ 4.9
小児科	▲ 22.3	▲ 38.4	▲ 44.9	▲ 31.9	▲ 26.8
外科	▲ 10.7	▲ 18.5	▲ 17.2	▲ 7.7	▲ 12.3
整形外科	▲ 6.3	▲ 18.3	▲ 14.9	▲ 1.6	▲ 6.7
皮膚科	▲ 2.6	▲ 15.2	▲ 6.0	6.2	▲ 5.4
産婦人科	▲ 4.4	▲ 14.9	▲ 11.9	▲ 0.1	▲ 2.7
眼科	▲ 7.6	▲ 19.7	▲ 21.4	▲ 2.0	▲ 4.9
耳鼻咽喉科	▲ 30.9	▲ 42.6	▲ 40.1	▲ 28.5	▲ 21.9

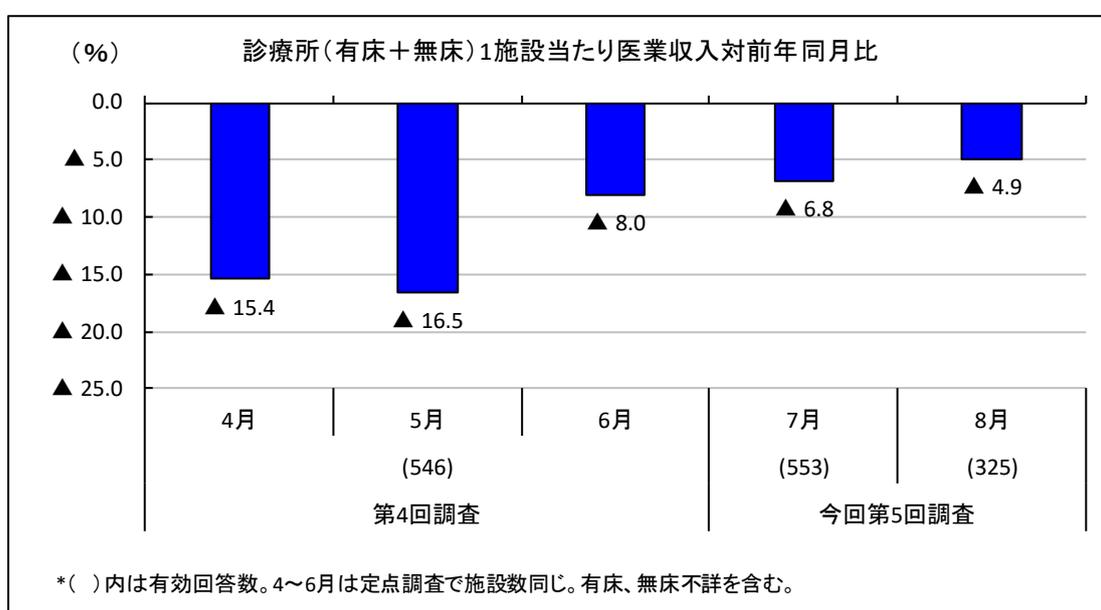
*厚生労働省「概算医療費データベース」から作成

2.3. 1 施設当たり医業収入

2.3.1. 総数

1 施設当たり医業収入（公的保険外収入を含む）の対前年同月比は、2020年5月を底に6月に回復したが、7月、8月はそれほど改善せず、依然として前年同月を下回っている（図 2.3.1）。

図 2.3.1 診療所（有床＋無床）1施設当たり医業収入対前年同月比



2.3.2. 有床・無床別

1 施設当たり医業収入（公的保険外収入を含む）は、有床・無床とも7月、8月の対前年同月比はマイナスである（図 2.3.2）。無床診療所の1施設当たり医業収入の対前年同月比は、7月、8月ともに総点数（公的保険収入）の対前年同月比（図 2.3.3）を下回っており、予防接種など公的保険外での減少が大きかったことがうかがえる¹。

図 2.3.2 診療所1施設当たり医業収入 対前年同月比

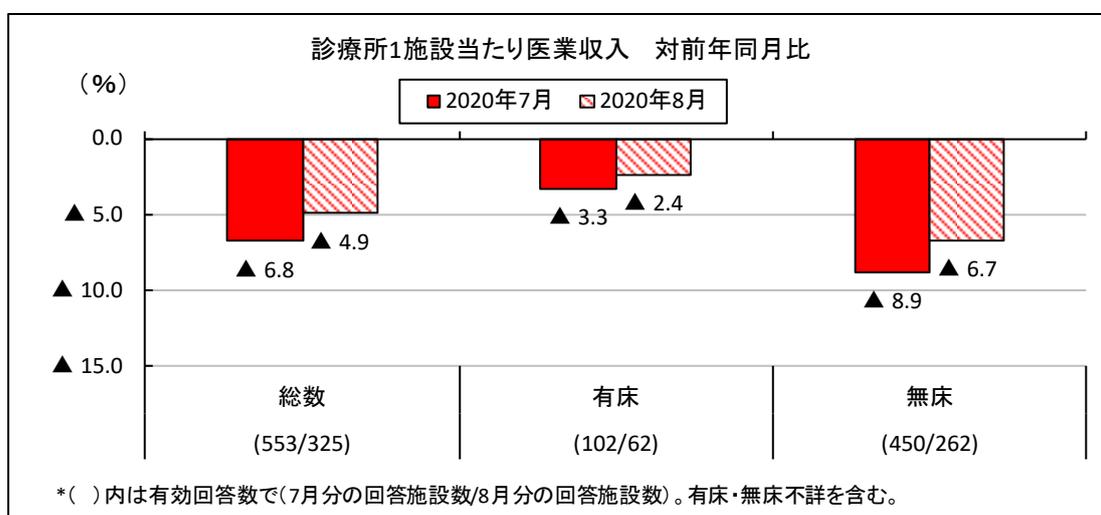
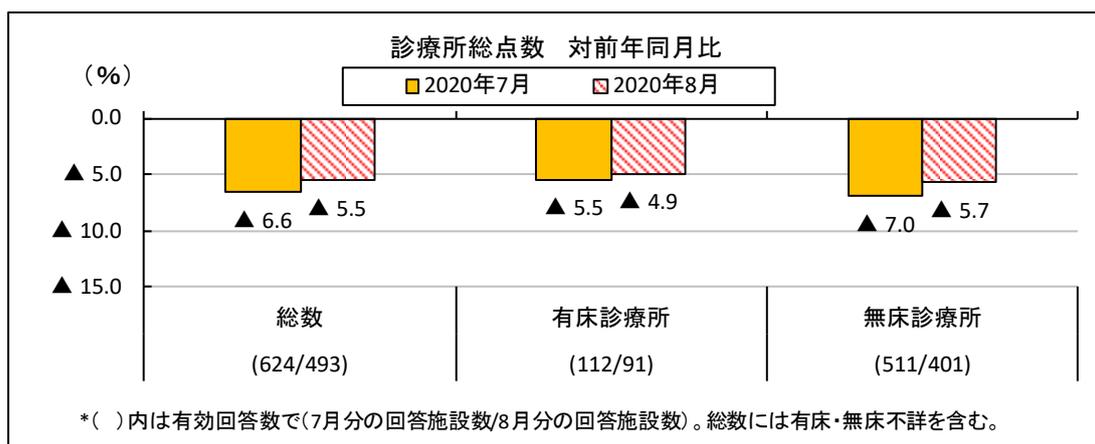


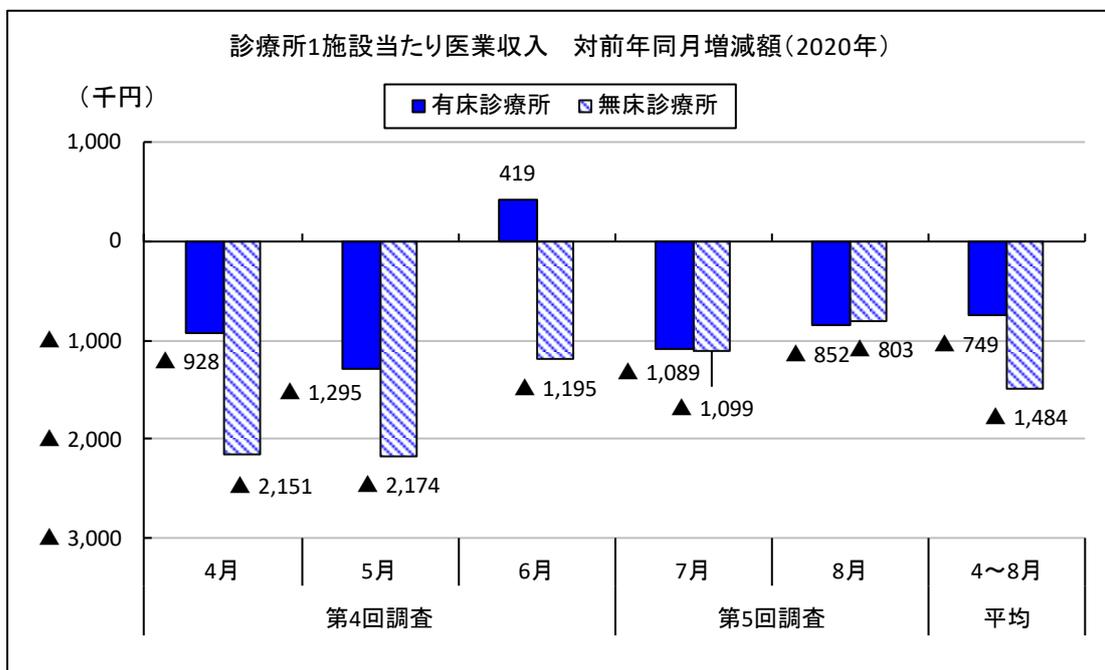
図 2.3.3 (再掲) 診療所総点数 対前年同月比



¹ ただし有効回答施設数が異なるので推察。

1 施設当たりの医業収入対前年同月増減額は、5月から6月にかけてやや持ち直したものの、その後、有床診療所は6月にはプラスだったが、7月に対前年同月増減額がマイナスになり、無床診療所も対前年同月増減額がマイナスのまま改善していない（図 2.3.4）。2020年4～8月平均で、有床診療所は▲749千円、無床診療所は▲1,484千円の減である。

図 2.3.4 診療所1施設当たり医業収入 対前年同月増減額（2020年）



1施設当たり医業収入対前年同月減収額 有効回答施設数

	4月	5月	6月	7月	8月
有床診療所		63		102	62
無床診療所		482		450	262

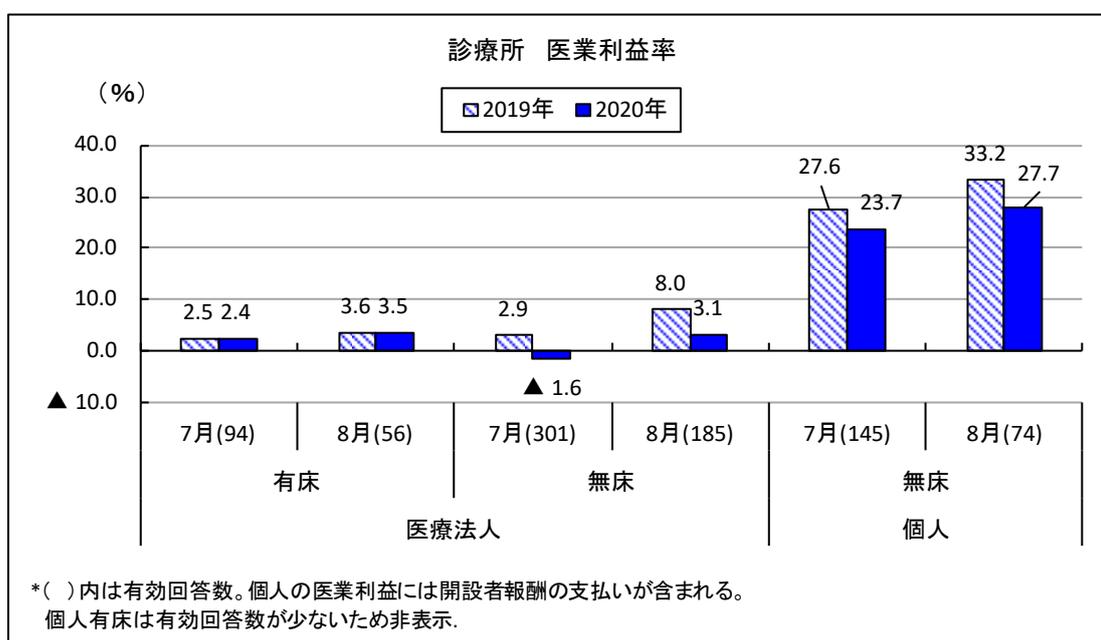
*4～6月調査は定点で実施

2.4. 医業利益

2.4.1. 医業利益率

医業利益率は2020年7月、8月いずれも、すべてのカテゴリで前年を下回り、医療法人の無床診療所の7月は赤字であった(図2.4.1)。

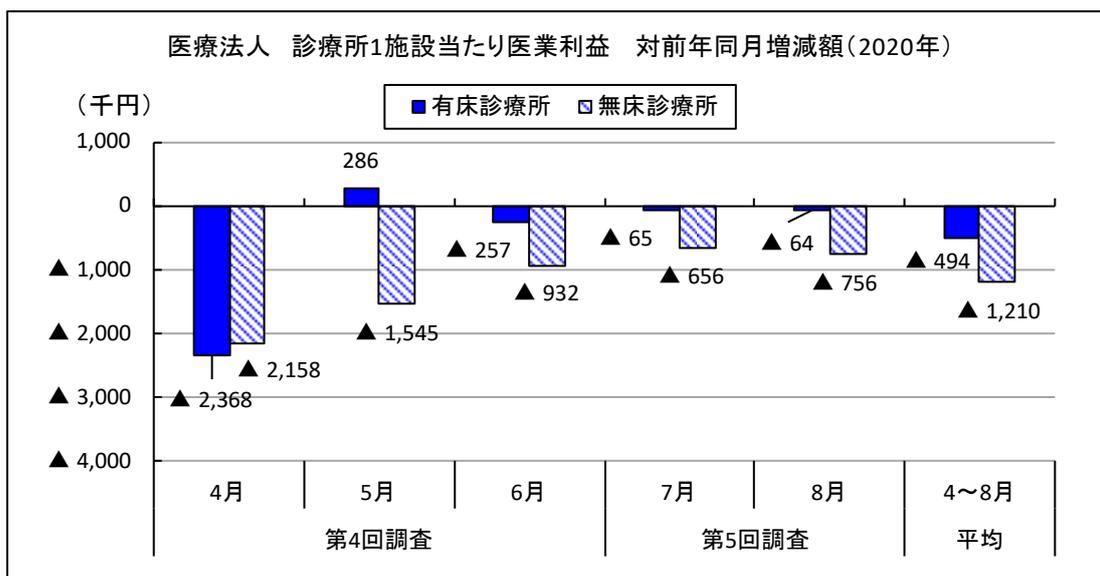
図 2.4.1 診療所 医業利益率



2.4.2. 1 施設当たり医業利益

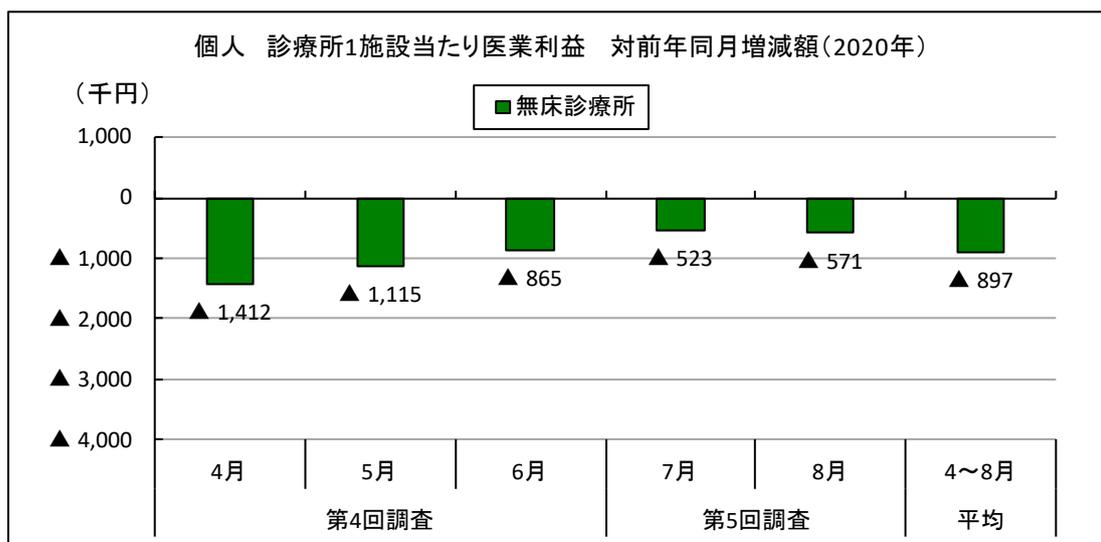
医療法人では有床診療所の5月を除き、対前年同月の減益がつづいている。2020年4～8月の平均増減額は有床診療所▲494千円、無床診療所▲1,210千円である（図2.4.2）。

図 2.4.2 医療法人 診療所1施設当たり医業利益 対前年同月増減額



個人でも無床診療所では対前年同月の減益がつづいている。2020年4～8月の平均増減額は無床診療所▲897千円である（図 2.4.3）。

図 2.4.3 個人 診療所1施設当たり医業利益 対前年同月増減額



1施設当たり医業利益対前年同月減収額 有効回答施設数

		4月	5月	6月	7月	8月
医療法人	有床		52		94	56
	無床		277		301	185
個人	無床		150		145	74

*4～6月調査は定点で実施。個人有床は有効回答数が10施設未満のため非表示。

3. まとめ

これまで見てきたように、2020年4～8月平均での無床診療所の1施設当たり医業収入対前年同月増減額は、月平均▲1,484千円である。また同時期の無床診療所（医療法人）の1施設当たり医業利益対前年同月増減額は、月平均▲1,210千円である。

感染拡大防止等を行った診療所向けに新型コロナ緊急包括支援交付金（上限：有床診療所2,000千円、無床診療所1,000千円）がある。しかし、何らかの出費に対する補助であり、医業利益には貢献しない。

また、発熱外来診療体制を確保した診療所にも補助金があるが、補助額は未知数である。

診療報酬では院内トリアージ実施料（300点/回）の対象が広がり、電話等再診で医学管理料が算定できるようになったが、それも含めて依然として医業収入の前年同月減収がつづいている。

全体的に追加的な財政支援を行うとともに、特に小児科および耳鼻咽喉科には集中的な支援が求められる。

診療所に対する主な補助金および診療報酬	
	概要
新型コロナ緊急包括支援交付金	医療機関・薬局等における感染拡大防止等の支援 感染拡大防止対策に要する費用に限らず、院内での感染拡大を防ぎながら地域で求められる医療を提供するための診療体制確保等に要する費用について幅広く実費補助（ただし通常の人件費は除く）。2020年4月1日から2021年3月31日まで。有床診療所は2,000千円、無床診療所は1,000千円が上限。
発熱外来診療体制確保支援補助金	診療・検査医療機関として指定を受け、発熱外来の体制をとっていたにもかかわらず、発熱患者さんの受診がなかった場合の補償。1日約269千円を上限として、指定を受けた日から2021年3月31までの期間が対象であり、補助額は確保した体制と実患者数による。
院内トリアージ実施料（300点/回）	<ul style="list-style-type: none"> 受診の時間帯によらず算定可。 施設基準を満たしたものとみなされる。
電話等再診ほか	<ul style="list-style-type: none"> 従来、初診料（288点）は対面のみであったが、電話等を用いた初診料（214点）算定可。 従来、電話等再診時の医学管理料の算定は不可であったが、電話等再診時の医学管理料（月1回147点）算定可。

福祉医療機構等の優遇融資、新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金、持続化給付金（売上高が前年同月比50%以上減少した中堅・中小事業者等が対象。医療法人や個人事業者を含む。給付額は、法人200万円、個人事業者100万円を超えない範囲で、昨年1年間の売上からの売上減少分が上限）、雇用調整助成金、家賃支援給付金を除く。

4. 集計表

4.1. 診療科別総件数・総点数

2020年7月

	回答数	総件数			総点数		
		2019年	2020年	対前年 同月(%)	2019年	2020年	対前年 同月(%)
有床	112	135,056	126,700	▲ 6.2	198,978,381	188,066,399	▲ 5.5
無床	511	536,633	479,741	▲ 10.6	610,559,586	567,889,978	▲ 7.0
総数	624	673,535	607,848	▲ 9.8	809,548,631	755,964,560	▲ 6.6

*総数には有床・無床不詳を含む

有床+無床

	回答数	総件数			総点数		
		2019年	2020年	対前年 同月(%)	2019年	2020年	対前年 同月(%)
入院	86	9,632	8,902	▲ 7.6	119,115,508	118,302,570	▲ 0.7
入院外	624	673,535	607,848	▲ 9.8	809,548,631	755,964,560	▲ 6.6

*有床診療所で入院の回答がないケースがある

入院(有床)

	回答数	総件数			総点数		
		2019年	2020年	対前年 同月(%)	2019年	2020年	対前年 同月(%)
計	86	9,632	8,902	▲ 7.6	119,115,508	118,302,570	▲ 0.7

入院外(有床+無床) 7・8月とも有効回答数30施設以上の診療科を再掲

	回答数	総件数			総点数		
		2019年	2020年	対前年 同月(%)	2019年	2020年	対前年 同月(%)
内科	303	306,259	284,174	▲ 7.2	443,497,426	422,083,505	▲ 4.8
整形外科	63	91,437	84,458	▲ 7.6	88,656,915	85,081,304	▲ 4.0
耳鼻咽喉科	47	57,081	45,451	▲ 20.4	39,751,214	30,900,498	▲ 22.3
小児科	65	55,798	38,157	▲ 31.6	39,652,325	27,783,984	▲ 29.9
計	624	673,535	607,848	▲ 9.8	809,548,631	755,964,560	▲ 6.6

2020年8月

	回答数	総件数			総点数		
		2019年	2020年	対前年 同月(%)	2019年	2020年	対前年 同月(%)
有床	91	106,790	100,112	▲ 6.3	141,402,494	134,459,696	▲ 4.9
無床	401	401,439	367,625	▲ 8.4	474,367,606	447,189,520	▲ 5.7
不詳	1	1,497	1,391	▲ 7.1	8,393	7,844	▲ 6.5
総数	493	509,726	469,128	▲ 8.0	615,778,493	581,657,060	▲ 5.5

*総数には有床・無床不詳を含む

有床+無床

	回答数	総件数			総点数		
		2019年	2020年	対前年 同月(%)	2019年	2020年	対前年 同月(%)
入院	70	7,108	6,461	▲ 9.1	93,189,040	93,579,154	0.4
入院外	493	509,726	469,128	▲ 8.0	615,778,493	581,657,060	▲ 5.5

入院(有床)

	回答数	総件数			総点数		
		2019年	2020年	対前年 同月(%)	2019年	2020年	対前年 同月(%)
計	70	7,108	6,461	▲ 9.1	93,189,040	93,579,154	0.4

入院外(有床+無床) 7・8月とも有効回答数30施設以上の診療科を再掲

	回答数	総件数			総点数		
		2019年	2020年	対前年 同月(%)	2019年	2020年	対前年 同月(%)
内科	244	239,381	226,140	▲ 5.5	361,992,680	348,370,021	▲ 3.8
整形外科	49	65,750	61,891	▲ 5.9	58,222,799	56,367,385	▲ 3.2
耳鼻咽喉科	41	46,912	38,989	▲ 16.9	31,375,957	25,590,734	▲ 18.4
小児科	53	36,859	25,572	▲ 30.6	25,920,236	18,618,818	▲ 28.2
計	493	509,726	469,128	▲ 8.0	615,778,493	581,657,060	▲ 5.5

4.2. 1 施設当たり医業収入

7月(医療法人+個人) (千円)

	有効 回答数		2019年	2020年	対前年同月	
					金額	(%)
総数	553	医業収入	16,200	15,102	▲ 1,099	▲ 6.8
		介護収入	1,630	1,662	32	2.0
		医業・介護収入	17,830	16,763	▲ 1,067	▲ 6.0
有床	102	医業収入	33,041	31,952	▲ 1,089	▲ 3.3
		介護収入	4,625	4,647	22	0.5
		医業・介護収入	37,666	36,599	▲ 1,068	▲ 2.8
無床	450	医業収入	12,392	11,294	▲ 1,099	▲ 8.9
		介護収入	955	989	34	3.6
		医業・介護収入	13,347	12,282	▲ 1,065	▲ 8.0

*総数には有床・無床不詳を含む

8月(医療法人+個人) (千円)

	有効 回答数		2019年	2020年	対前年同月	
					金額	(%)
総数	325	医業収入	16,477	15,662	▲ 815	▲ 4.9
		介護収入	1,550	1,578	28	1.8
		医業・介護収入	18,026	17,240	▲ 786	▲ 4.4
有床	62	医業収入	35,728	34,876	▲ 852	▲ 2.4
		介護収入	4,405	4,615	210	4.8
		医業・介護収入	40,132	39,491	▲ 641	▲ 1.6
無床	262	医業収入	11,941	11,138	▲ 803	▲ 6.7
		介護収入	880	865	▲ 15	▲ 1.7
		医業・介護収入	12,821	12,003	▲ 818	▲ 6.4

*総数には有床・無床不詳を含む

4.3. 1 施設当たり医業利益等

医療法人

7月

(千円)

	有効 回答数		2019年	2020年	対前年同月	
					金額	(%)
有床	94	医業収入	34,692	33,632	▲ 1,060	▲ 3.1
		介護収入	5,013	5,036	23	0.5
		医業・介護収入	39,705	38,668	▲ 1,037	▲ 2.6
		医業・介護費用	38,730	37,758	▲ 972	▲ 2.5
		医業利益	975	910	▲ 65	▲ 6.6
無床	301	医業収入	13,669	12,396	▲ 1,273	▲ 9.3
		介護収入	1,422	1,473	51	3.6
		医業・介護収入	15,091	13,869	▲ 1,222	▲ 8.1
		医業・介護費用	14,658	14,091	▲ 566	▲ 3.9
		医業利益	433	▲ 223	▲ 656	▲ 151.4

8月

(千円)

	有効 回答数		2019年	2020年	対前年同月	
					金額	(%)
有床	56	医業収入	38,051	37,196	▲ 855	▲ 2.2
		介護収入	4,867	5,101	233	4.8
		医業・介護収入	42,918	42,297	▲ 621	▲ 1.4
		医業・介護費用	41,373	40,815	▲ 558	▲ 1.3
		医業利益	1,545	1,481	▲ 64	▲ 4.1
無床	185	医業収入	13,806	12,931	▲ 875	▲ 6.3
		介護収入	1,238	1,216	▲ 22	▲ 1.8
		医業・介護収入	15,044	14,148	▲ 897	▲ 6.0
		医業・介護費用	13,845	13,704	▲ 141	▲ 1.0
		医業利益	1,199	443	▲ 756	▲ 63.0

個人

7月

(千円)

	有効 回答数		2019年	2020年	対前年同月	
					金額	(%)
無床	145	医業収入	8,423	7,577	▲ 846	▲ 10.0
		介護収入	11	11	0	2.0
		医業・介護収入	8,434	7,588	▲ 846	▲ 10.0
		医業・介護費用	6,109	5,786	▲ 323	▲ 5.3
		医業利益	2,325	1,802	▲ 523	▲ 22.5

8月

(千円)

	有効 回答数		2019年	2020年	対前年同月	
					金額	(%)
無床	74	医業収入	7,343	6,729	▲ 614	▲ 8.4
		介護収入	20	22	2	10.0
		医業・介護収入	7,363	6,751	▲ 612	▲ 8.3
		医業・介護費用	4,918	4,877	▲ 41	▲ 0.8
		医業利益	2,445	1,873	▲ 571	▲ 23.4

*有床診療所は有効回答数10施設未満のため非表示

参考（これまでの調査の公表）

	資料
第1回	新型コロナウイルス対応下での医業経営状況等アンケート調査 (2020.4.30) https://www.med.or.jp/nichiionline/press/2020/
第2回	新型コロナウイルス感染症対応下での医業経営状況等アンケート 調査(2020年3~4月分)(2020.6.9) http://dl.med.or.jp/dl-med/teireikaiken/20200610_6.pdf
第3回	新型コロナウイルス感染症対応下での医業経営の状況ー2019年 および2020年3~5月レセプト調査ー(2020.7.22) http://dl.med.or.jp/dl-med/teireikaiken/20200722_2.pdf
第4回	新型コロナウイルス感染症の診療所経営への影響 2020年4~6月 分(2020.9.9) http://dl.med.or.jp/dl-med/teireikaiken/20200909_2.pdf